

2023年2月号



新年会

ひだまりの新年会は、出来たてもっちりの紅白饅頭とお抹茶で新年をお迎えました。

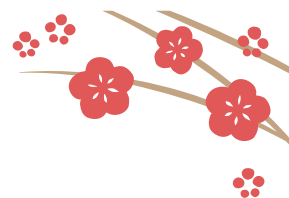
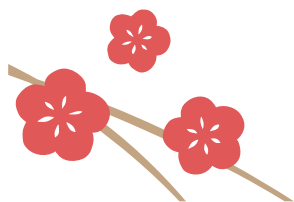
みなみ苑の新年会は、例年にご家族を招待して開かれるのですが、新型コロナウイルス感染予防のため、ご利用者のみで行いました。施設長による福笑いでの笑いが上がり、ビンゴで盛り上がりました。「今年も1年が始まったね。年始早々楽しいね」ビンゴでは「いっぱい開いたのにビンゴにならん」など賑やかな時間を過ごしました。



そよかぜデイサービスセンター「鏡開き」

1月11日の鏡開きのおやつにぜんざいを作りました。

お餅の代わりに小麦粉団子を作り入れました。昔、よく作ったと言われるご利用者に塩加減をみてもらい、とてもおいしくできあがりしました。ご利用者の皆さん「小麦粉団子は懐かしい」と喜ばれていました。



そよかぜデイサービスセンター「干支だるま」

今年の干支は兔です。ご利用者の健康を願い、干支だるまを作りました。千代紙をちぎって貼るという細かい作業でしたが、だんだんと出来上がっていくのを励みに頑張ってくださいました。最後に目を描き、表情豊かな作品に仕上がりました。



南知多町デイサービスセンター「お正月」

玄関やデイホールに、職員手作りのしめ縄や門松、お正月飾りを飾り新しい年を迎えました。元旦にはレクリエーションの時間に、職員が絵巻物を見せながら「十二支の成り立ち」のお話をしました。

昼食にはおせち料理をいただき、おやつはお祝い菓子で、生菓子のお饅頭をいただきました。お正月でお休みしていたご利用者から、「正月飾りを一緒に作れなくて残念だった」と残念がる方もいらっしゃいました。



南知多町デイサービスセンター「手作り作品 絵馬」

うさぎは、牛乳パックをうさぎの形に切り、いろいろな柄の布で覆い、中に綿をつめました。柄の違うふわふわの立体的なうさぎをはり、それぞれ雰囲気の違いができました。

ご利用者は、「いいのができたわ。家に飾るね」と大喜びでした。送迎時に、自宅に飾った絵馬を見せてくださるご利用者もみえました。



あい寿の丘「新年の抱負」

ある日のことです。テレビのニュースで「宮内庁の歌会始の儀が1月18日に開かれました」と流れ始めると、ご利用者の皆さんがテレビの前に集まれ興味津々な様子で見られてました。

ご利用者が俳句を常日頃から楽しまれている方は「あい寿の歌会始」として「祝白寿 一を加へて年を迎ふ」など俳句を読んでくれました。



みなみ苑「喫茶気分」

みなみ苑でも冬の寒さが厳しく、外に出るのが「しんどい」と言われる方が増えています。少しでも気分転換になるようにとテーブルの配置を変えて、お抹茶を立てたり、いつもと違う雰囲気でお茶会気分を味わって頂きました。ご利用者の皆さんは「美味しい。嬉しいよ」「高級な喫茶店みたいだね」と、とても喜んで頂きました。



お茶会のお知らせ

令和4年度のお茶会は、新型コロナウイルスの感染が拡大されている状況を踏まえて中止とさせていただきます。ご利用者は、少しでもお茶会の気分を味わっていただこうと思っておやつのお時間にお抹茶と和菓子をいただく予定です。